

# 聞いてきましたまちの声

表紙によせて VOL. 2

## 八女福島仏壇仏具協同組合 理事長 鶴 信行 氏

数々の伝統工芸が受け継がれている八女市。その中の一つである八女福島仏壇について、その歴史から将来像にわたり、鶴信行理事長に伺いました。仏壇業界も新型コロナウイルスにより大きな影響を受けているそうですが、取材に対して、熟知した言葉で伝統技術に対する情熱を熱く語られる姿がとても印象的でした。



### 組合の歴史についてお聞かせください。

明治15年に旧・福島町（現、八女市）を中心にして、部門別で4つの組合が組織されてから、今日の基礎が築かれています。

戦時中、金箔や漆等の入手が困難な時期を組合の団結力で乗り越え、昭和52年には、経済産業大臣より伝統的工芸品の指定を受け、知名度を上げるきっかけとなりました。

### 年間通じてどのような活動をされていますか。

代表的には、仏壇フェア、小学生対象の体験授業、仏壇供養祭、日本一の大型仏壇のすず払いを事業として取り組んでいます。中でも、毎年10月27日（毎月27日は「仏壇の日」）に開催する仏壇供養祭は、核家族化が進む中、若い世代で大型の仏壇のお世話ができない家庭が多くなり、依頼される方が年々増えています。



### 八女福島仏壇の本質は技術力と思いますが、次世代に継承するための考えを伺います。

組合員の多くが高齢化しており、悩みのタネですが、機会あるたびに地道に伝えていくことが重要と思っています。

### 近年、仏壇に対する価値観が多様化している中、組合の将来像・目標についてお聞きします。

基本的には、伝統的工芸品である八女福島仏壇にこだわりますが、現代的仏壇との両輪で取り組んでまいります。実は、このたび「ふくおか八女仏壇」という新ブランドを立ち上げました。伝統的工芸品の認定条件は6つの工程が必要ですが、新ブランドは3つ以上で認定が取れるというメリットがあり、拡販につながるかと期待しています。

### 市議会に対してメッセージをお願いします。

更に勉強をしていただき、けんけんがくがく喧々譁々の議論を交わして活発な議会になることを期待します。

## 議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

8月26日(水) 予定  
立花庁舎議場 午前10時から  
八女市議会事務局 23-4922

西日本と東日本の広い範囲で大きな被害を出した令和2年7月豪雨によりお亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

八女市議会

編集後記

「コロナ禍によりかつての日常が一変しました。国民の安全安心な暮らしを守るのは国の責任です。財務省は、「日・米など先進国の自国通貨建て国債のデフォルトは考えられない」としています。賃金主導型成長戦略に政策転換し、長期計画の基、積極財政により全ての地域が輝く社会の実現を希望しています。

堤 康幸

発行責任者 議長 角田 恵一  
議会だより編集委員会  
委員長 高橋 信広  
副委員長 大坪 久美子  
委員 松崎 辰義  
委員 井上 賢治  
委員 牛島 孝之  
委員 堤 康幸  
委員 田中 栄一  
委員 川口 堅志  
委員 高山 正信